

古賀千景参議院議員による自衛官への差別的な発言に関する抗議決議

本年6月15日、参議院決算委員会において、立憲民主党の古賀千景参議院議員が、「経済的に厳しい子供たちが自衛隊に行く」、「豊かな子供たちは自衛隊にならない」などと発言をした。これらの発言は、国防や災害救助に命を賭して励んでいる自衛官とその家族を侮辱するものである。また、国を護りたいという使命感、災害救助、復興支援など公的貢献への思いを持って志願してくる若者たちの純粋な動機を踏みにじるものであり決して看過できない。

議員は発言直後に訂正を申し出たとは言え、その言葉によって自衛官とその家族、自衛官を志す若者の名誉と尊厳を傷つけた事実は消えない。

島嶼県である沖縄においては、離島からの救急搬送や台風等の災害時派遣など、自衛隊が沖縄県民の生命、財産を守るという点でも多大な貢献をしていることもあり、古賀議員の発言は現実を踏まえていない極めて恣意的な発言だと受け止めざるを得ない。

よって、沖縄市議会では自衛隊が国民の生命と財産を守り、平素から我が国の平和と独立を支える組織であることを改めて表明するとともに、古賀千景参議院議員に対し、以下の事項を強く求める。

記

1. 自衛官およびその家族、自衛官を志す若者に対し、真摯な謝罪を行うこと。
2. 自衛隊の存在意義を認識し、その歪曲や否定につながる発言を厳に慎むこと。
3. 今後、客観的事実に基づく発言と行動を通して、平和を希求する国会議員としての責任を果たすこと。

以上、決議する。

令和8年6月25日
沖 縄 市 議 会

宛 先 古賀千景参議院議員 水岡俊一立憲民主党代表